事務事業評価シート2（一般事業）

1 基本情報

			事業番号	0110/100575/15/00		事業の類型	4
年度	19	事務事業名	男女共同参画推進事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名			いきいき女性プラン推進事業	担当部課名	まちづくり推進室		
政策名			愛着と生きがいを育むまちづくり				
施策名			男女共同参画社会	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規			男女共同参画社会基本法				
事業の目的	誰のために（具体的に）		相生市民				
	誰（何）を対象として		市民・企業・行政				
	意図（どのような状態にしたいのか）		平成１１年に制定された「男女共同参画社会基本法」に基づき、男女が社会の対等のパートナーとして家庭、職場、地域社会などのあらゆる分野で、おたがいの能力や個性を十分に発揮できる環境づくりを進め、男女共同参画社会の実現に向け意識啓発を行う。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民活動クループ「あいおい男女共同参画ねっと『櫂』」と協働で、男女共同参画社会実現のための意識啓発、男女共同参画セミナー、フォーラム、情報紙を発行した。また、男女共同参画プランに基づき具体的施策を実施した。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	男女共同参画フォーラム	参加者数	250人	250人	170人	200人
	〃　セミナー	参加者数	58人	60人	78人	60人
	情報紙の発行	発行回数	2回	2回	2回	2回
	審議会等への参画	女性登用率	16.80%	17.50%	18.80%	20.00%

3 投入資源

会計区分：一般会計　　　事業費単位：円

インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.450	0.480	106.7	0.400	83.3	0.350	87.5	
	臨時職員	0.050	0.050	100.0	0.175	350.0	0.065	37.1	
支出内訳	人件費	5,073,382	4,966,831	97.9	4,664,794	93.9	3,885,464	83.3	
	事業費	648,479	618,200	95.3	615,900	99.6	519,000	84.3	
	合計	5,721,861	5,585,031	97.6	5,280,694	94.6	4,404,464	83.4	
財源内訳	国庫支出金			−		−		−	
	県支出金			−		−		−	
	市債			−		−		−	
	その他			−		−		−	
	一般財源	5,721,861	5,585,031	97.6	5,280,694	94.6	4,404,464	83.4	
	合計	5,721,861	5,585,031	97.6	5,280,694	94.6	4,404,464	83.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		男女共同参画推進事業							
指標説明（式）		事業（セミナー・フォーラム）数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	目標	5	4	80.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	目標			−		−		−	
	実績			−		−			

【効率性】

指標名1		男女共同参画フォーラム参加者一人当たりのコスト							
指標説明（式）		フォーラム事業費／参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	実績	3,645	1,915	52.5	1,820	95.0	1,400	76.9	

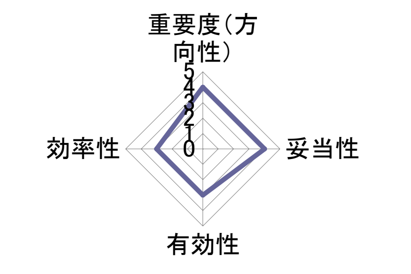
指標名2		情報紙一部あたりのコスト							
指標説明（式）		発行にかかるコスト/発行部数（13，000部）							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	実績	7.99	4.74	59.3	5.26	111.0	3.80	72.2	

5　事業の評価（19年度実績）　Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価（係長）	2次評価（課長）
妥当性	目的の妥当性	男女共同参画社会基本法で男女共同参画社会の実現が21世紀の国の最重要課題と位置付けられており、市としての責務が規定されている。	3	4
	市民ニーズ	平成13年度に実施した市民アンケートによると、固定化された性別役割分担意識が強く、男女がともに家庭や社会でいきいきと生活できる社会づくりを望んでいることから、市民ニーズも高い。		
有効性	成果目標（改善）達成度	連続セミナー、フォーラム等を開催し、情報紙を作成し全戸配布することで意識啓発することができた。	3	3
	成果の向上	時代の流れに沿った事業を実施することで、更なる啓発を行う。		
効率性	手段の最適性	男女共同参画社会の実現は市民一人一人の課題であるという視点から、市民活動グループ”あいおい男女共同参画ねっと「櫂」”と協働でセミナーやフォーラム、情報紙の編集をすることでより柔軟に施策を実施できた。	3	3
	執行体制の効率性			

6　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	「相生市男女共同参画プラン」が策定されて5年が経過し、男女平等意識や家庭と仕事との両立など、市民意識にも変化がみられるため、改めて市民のニーズを確認する必要がある。



（1）評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

度の実施ス	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	事業の実施にあたっては、情勢の変化に応じ、男女共同参画の視点にたって学習テーマを検討していく必要がある。
H19→H20予算反映額		

（2）20年度の実施方針

「心とからだの健康」をテーマに子育て世代のお母さんや団塊の世代を対象にしたセミナーを開催するとともに、男女共同参画の意識を多くの市民に広めるためのフォーラムや情報紙の編集を行う。

検討の有無	－
総合指標	20